

# JRAT 活動報告書

平成 30 年 9 月 20 日

都道府県	兵庫県	報告者	氏名 相見真吾	
団体名称/ 参加団体	兵庫 JRAT／兵庫県リハ医会、兵庫県理学療法士会、兵庫県作業療法士会、兵庫県言語聴覚士会、兵庫県介護支援専門員協会			
実施内容	<input type="checkbox"/> 組織化・連携の動き	<input type="checkbox"/> 研修会実施	<input checked="" type="checkbox"/> 訓練等実施	<input type="checkbox"/> その他
実施日	平成 30 年 9 月 2 日	実施場所	香住小学校ほか	
概要	<p>平成 30 年 9 月 2 日(日)に兵庫県主導の下、郷村断層帯を震源とする直下型大規模地震・津波の発生を想定し、合同防災訓練が開催されました。</p> <p>兵庫 JRAT から医師 3 名、PT5 名、OT1 名、ST1 名、ケアマネジャー 2 名の計 12 名が参加し、当日の 11:30 から訓練開始、13:00 訓練終了として JRAT3 チームが参加しました。</p> <p>JRAT1 チームは福祉避難スペースでの避難者の健康確認、環境アセスメントを JMAT と連携して実施し、残りの 2 チームは福祉避難所にて、福祉避難スペースから搬送されてきた要援護者の受け入れを行った。また福祉避難所では要援護者に対して生活不活発病についての啓発と予防の方法を提案した。</p>			
所感	<ul style="list-style-type: none"><li>・福祉避難スペースでの活動を通して、環境アセスメントや避難者のトリアージの点で防災初期からの JRAT の活動意義はあると感じた。</li><li>・他職種に対しての JRAT の役割の周知が必要と感じた。</li><li>・チーム員の構成が男性のみの構成ではなく、男女の構成である方が避難者、施設側のニーズに対応できる。</li></ul>			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・JRAT としての福祉避難所での対応方法のひな型と現場スタッフ間での情報共有ツールを準備しておく必要がある。</li><li>・現場での保健師とのコミュニケーションと役割分担</li><li>・福祉避難スペースから、福祉避難所へ移送時の申し送りに情報共有の内容と手続きのルール化が必要と感じた。</li></ul>			
今後の活動予定	平成 31 年 2 月 3 日兵庫 JRAT 研修会予定 (内容: 西日本災害の活動報告、兵庫県防災訓練活動報告、REHUG 研修など)			

